

2章 文型2

要点

重要ポイント1 SVO+C (名詞・形容詞)

第5文型のCは直前のOの様子を補足説明し、「O=C (O is (are) C)」の関係が成立する。第5文型ではOを必要とするため、以下のような他動詞が用いられる。

Cになる語(句)はさまざまなので、場合分けして第5文型を見ていく。

(1) Cが名詞の場合

- ① call + O + C 「OをCと呼ぶ」

We call the dog Goofy. (私たちはその犬をグーフィーと呼んでいる。)

S V O C

- ② name + O + C 「OをCと名づける」

They named their first baby Ryo.

S V O C

(彼らは初めての赤ちゃんをリョウと名付けた。)

- ③ その他

make 「OをCにする」, think 「OをCであると思う」, elect 「OをCに選ぶ」

People elected the professor governor.

S V O C

(人々はその教授を知事に選んだ。)

※Cの位置に唯一の役職名がくると無冠詞になる場合がある。

(2) Cが形容詞の場合

- ① make + O + C 「OをCにする」

His letter made her happy.

S V O C

(彼の手紙は彼女を幸せにした。→彼の手紙に彼女は喜んだ。)

- ② find + O + C 「OがCだとわかる」

She found the story boring. (彼女はその物語が退屈だとわかった。)

S V O C

- ③ keep + O + C 「OをCにしておく」

My grandmother always keeps her kitchen clean.

S V O C

(祖母はいつも台所をきれいにしている。)

④ その他

leave + O + C 「OをCのままにしておく」

get + O + C 「OをCにする」

think + O + C 「OをCであると思う」

paint + O + C 「OをC (=色) に塗る」

■ 確認問題 1

次の日本語を英訳せよ。

- (1) 村人たちは彼を愚か者だと思った。
- (2) カルシウムは骨を強くする。 *「カルシウム」: Calcium *「骨」: bone
- (3) 窓は開けたままにしておいて下さい。
- (4) 父親はその壁を白色に塗った。
- (5) 彼らはネルソンを海軍大将に任命した。 *「海軍大将」: admiral
- (6) 彼は、祖父の名をとって、ジョーと名づけられた。

重要ポイント2 SVO+C (分詞)

(1) Cが現在分詞の場合

① Vが知覚動詞

S	V (知覚動詞)	O	C
see	:「Oが…している」のを見る		…ing
look at			
watch			
hear	:「Oが…している」のが聞こえる		
listen to	:「Oが…している」のを聞く		
feel	:「Oが…している」を感じる		
notice	:「Oが…している」のに気づく		
smell	:「Oが…している」においがする		

I saw a bird **flying**. (私は1羽の鳥が飛んでいるのを目にした。)

S V O C

※混同しやすい知覚動詞の意味について

see / hear 「(主語の意志に関わらず) ~が見える / ~が聞こえる」

look at, watch / listen to 「(主語が意志を持って) ~を見る / ~を聞く」

② Vが使役動詞

S	V (使役動詞)	O	C
have	:「Oが…している」状態にさせておく		…ing
get	:「Oが…している」状態にさせる		

Mother often has water **running** in the sink.

S V O C

(母はしばしば流しで水を出したままにしている。)

I got the TV **working** again. (私はテレビをもう一度つけた。)

S V O C

③ Vが keep, leave

S	V	O	C
	keep : 「Oが…している」状態を維持する		…ing
	leave : 「Oが…している」状態に放置する		

The mother left the baby **crying**. (母親は赤ん坊を泣きっ放しにした。)

S V O C

④ Vが find, catch

S	V	O	C
	find } 「Oが…している」を見つける		…ing
	catch }		

The teacher caught George **cheating** in the exam.

S V O C

(先生はジョージが試験中カンニングしているのを見つけた。)

※ catch は通例, 「よくないことをしているのを偶然見つける」の意で用いる。

(2) Cが過去分詞の場合

① Vが知覚動詞

S	V (知覚動詞)	O	C
	see : 「Oが…される」を見る		…ed
	hear : 「Oが…される」のが聞こえる		
	feel : 「Oが…される」を感じる		

I heard my name **called**. (私は自分の名前が呼ばれるのを耳にした。)

S V O C

② Vが使役動詞

S	V (使役動詞)	O	C
	make : 「Oが…される」ようにさせる		…ed
	have } 「Oが…される」ようにさせる / してもら		
	get } う / される		
	※ get は主に口語で用いられる。		

I had my suitcase **carried**. (私はスーツケースを運んでもらった。)

S V O C

※ have [get] + O + 過去分詞の用法の意味：前後関係で決まる。

《使役》Oを…させる，…してもらう

I had my bike **repaired**. (ぼくは自転車を修理させた／してもらった。)

S V O C

《被害》Oを…される

I had my car **stolen**. (私は車を盗まれた。)

S V O C

③ Vが keep, leave

S	V	O	C
	keep : 「Oが…された」状態 with維持する		…ed
	leave : 「Oが…された」状態 withに放置する		

Keep your dog **tied** to a tree. (犬を木につないでおきなさい。)

V O C

■ 確認問題2

A. カッコ内から適当な語を選べ。

- (1) She watched her parents (argued ; arguing ; to argue).
- (2) Don't leave my wife (to wait ; waits ; waiting ; waited) outside.
- (3) I heard my name (announce ; announcing ; to announce ; announced) as the winner.

B. 次の英文を和訳せよ。

- (1) I wish to have a phone put in my room.
- (2) My boss will get that work finished on time.
- (3) At that time we always saw drunken men quarreling on a platform.

重要ポイント3 SVO+C (原形不定詞)

(1) Cが原形不定詞 (=動詞の原形) の場合

① Vが使役動詞

I made him **go** there. (彼をそこに行かせた。)

S V O C (原形不定詞)

We had our son **clear** the table.

S V O C (原形不定詞)

≡ We had the table **cleared** by our son.

S V O C (過去分詞)

(私たちは息子にそのテーブルを片付けさせた。)

I let my daughter go to the party with her boyfriend.

S V O C (原形不定詞)

(私は娘が男友達とパーティーに行くことを許した。)

※使役動詞の make, have, let は目的語の後に原形不定詞を用いる。使い方は同じだが、意味は少しずつ異なる。

make : 相手が望んでいてもいなくても、とにかくさせる。

have : 中立で、事務的。

let : 相手が望んでいることをさせてあげる。許可。

※ have + O (人) + C (原形不定詞) ⇔ get + O (人) + C (to 不定詞)

使役動詞 get は、意味的には have と似ているが、目的語の後に to 不定詞を用いる。

She **had** the doorman **carry** her suitcase.

⇔ She **got** the doorman **to carry** her suitcase.

(彼女はドアマンにスーツケースを運んでもらった。)

≡ She **got** her suitcase **carried** by the doorman.

② Vが知覚動詞

I saw him smile. (彼がほほえむのが見えた。)

S V O C

I heard him sing. (彼が歌うのが聞こえた。)

S V O C

I felt the earth shake. (地面が揺れるのを感じた。)

S V O C

③ その他

help + O (人) + C (原形不定詞) ⇔ help + O (人) + C (to 不定詞)

※知覚動詞や使役動詞のように、help も C に原形不定詞を取ることができるが、help の場合には to があってもなくてもほぼ同じ。

A. The teacher **helped** me **carry** the box.

(私とその箱を運ぶのを先生は(自ら)手伝ってくださった。)

B. The teacher **helped** me **to carry** the box.

(私とその箱を運ぶのを先生は手伝ってくださった。)

▶ Cにおける原形不定詞と分詞の違い

I saw him walk. (彼が歩くのを見た。)

例えば、病気でしばらく歩けなかった彼が回復してきて少し歩けるようになった。
その歩いたところを最初から最後まで見届けた感じが walk である。

I saw him walking with a blonde girl.

(彼がブロードの女の子と歩いているところを見た。)

walking の場合は最初から最後まで見たのではなく、歩いているところの一部を見かけた感じである。

(2) Cが原形不定詞の受動態

< make + O + C (原形不定詞) >の文は、受動態にすると不定詞の to が必要となる。

I was made to wash his car by him. (私は彼に車を洗わされた。)

< He made me wash his car. (彼は私に車を洗わせた。)

S V O C

< 知覚動詞 + O + C (原形不定詞) >の文は、受動態にすると不定詞の to が必要となる。

She **was seen to enter** his study (by us).

(彼女は私たちに彼の書斎に入るのを見られた。)

< We saw her enter his study. (私たちは彼女が彼の書斎に入るのを見た。)

S V O C

■ 確認問題3

A. 次の英文を和訳せよ。

(1) The *customs officer made Meg open her case.

*customs officer : 「税関検査官」

(2) She saw them climb over the wall and reported their behavior to the police.

B. 次の英文を受動態に書き換えよ。また完成させた文を和訳せよ。

(1) Tim made me clean the windows.

(2) Lisa saw us run to the taxi.

(3) I heard Tom talk about his new book in the café.